

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	事例検討		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	岡崎 美穂	実務経験と その関連資格	登録販売者			
《授業科目における学習内容》						
今までの学外実習で経験した事例、または起きる確率が高い事例について考え意見を交換する。さまざまな価値観を身につける						
《成績評価の方法と基準》						
出席・授業態度・テスト・レポート						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教員作成資料(ケーススタディ)、プリント						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだことを機会があれば実習先で実践してみる						
《履修に当たっての留意点》						
将来働くにあたって必要なスキルです。しっかりと現場をイメージして授業に取り組んでください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例検討の基本的な進め方を理解し、グループワークで積極的に意見交換ができる	教員作成資料(ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる	
		各コマにおける授業予定	風邪・痛みのケーススタディを用い、グループでの討議と発表を通じて、実際の接客場面で求められる課題解決能力を養います			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	消化器症状の背景を推測する力を養う。適切なOTC薬の選択と、的確な受診勧奨ができるようになる	教員作成資料(ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる	
		各コマにおける授業予定	ケーススタディを用い、胃痛、吐き気、便秘など原因が多岐にわたる消化器症状への対応を検討します。特に、隠れた重篤な疾患の可能性を疑い、受診勧奨を行うことの重要性を学びます			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	デリケートな相談に対し、共感的な傾聴ができる	教員作成資料(ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる	
		各コマにおける授業予定	ケーススタディを通じ、PMS、生理痛、更年期障害といったデリケートな相談への対応を学びます。お客様の体質(証)に合わせた漢方薬の選び方がポイントとなります			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性的な症状に対するセルフメディケーションの範囲と限界を理解する	教員作成資料(ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる	
		各コマにおける授業予定	ケーススタディを通じ、アトピーや難治性の水虫など慢性的な症状に対するセルフメディケーションの範囲と限界を学びます			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	妊婦、授乳婦への対応原則を理解する。安全性を最優先した情報収集の重要性を認識し、実践できるようになる	教員作成資料(ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる	
		各コマにおける授業予定	「ハイリスク層への対応①(妊婦・授乳婦)」ケーススタディを通じ、安全性を最優先した情報収集(問診)と、禁忌・慎重投与の根拠を明確に説明する能力を養います			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 高齢者や基礎疾患を持つお客様への対応における、特有の注意点を理解する	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	「ハイリスク層への対応②(高齢者・基礎疾患)と生活習慣」ケーススタディを通じ、高齢者や基礎疾患を持つお客様への対応と、服用中の薬(常用薬)のヒアリングの重要性を学びます		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 複合的で難しい事例に対応する応用力を試す。専門家としての倫理観が問われる場面での適切な立ち振る舞いを考える	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	「総合演習(複雑・倫理的配慮・不適切使用)」これまでの知識とスキルを総動員し、複合的で難しい事例に対応します。専門家としての倫理観が問われる場面での立ち振る舞いを考えます		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 濫用等のおそれのある医薬品の重要性と対象成分を説明できる。適正販売の基本ルールを理解し、不審な事例に適切に対応できる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	濫用等のおそれのある医薬品の定義と対象成分、販売時の基本ルール(個数制限・若年者対応・不審購入の確認)を学ぶ。事例検討を通じ、店舗とお客様を守るための実践的対応を演習・討議で習得する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 小児の身体的特徴と薬物感受性の違いを理解し、年齢に応じた適正な薬の提案と保護者へのわかりやすい説明ができる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	小児への薬販売時の確認事項(年齢・使用方法)と説明ポイントを学ぶ。事例検討を通じて、安全な投与と受診勧奨の判断力を養い、保護者対応スキルを高める		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 目の症状の原因を正しく見極め、症状・背景に応じた適切な目薬を選択し、正しい使用方法を説明できる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	目の症状の鑑別とOTC薬の適応・受診判断基準を学ぶ。事例検討を通じて、適切な商品提案と使用指導の実践力を養う		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 健康食品や衛生用品について、医薬品との説明の違いを理解し、法令やルールに沿った適切な説明ができる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	健康食品は成分や特徴を「健康維持をサポートする食品」として説明し、衛生用品は機能や正しい使い方を客観的事実に基づいて伝える方法を学ぶ。事例検討を通じて、医薬品以外の商品対応スキルを習得する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまで学んだ知識とスキルを統合し、多様な症状や背景に応じた適切な対応ができる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	これまでの講義内容を総復習し、事例演習を通じて実践的な接客対応力を強化する。幅広いケースに対して柔軟かつ確かな提案ができるようトレーニングする		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまで学んだ知識とスキルを統合し、多様な症状や背景に応じた適切な対応ができる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	これまでの講義内容を総復習し、事例演習を通じて実践的な接客対応力を強化する。幅広いケースに対して柔軟かつ確かな提案ができるようトレーニングする。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 これまで学んだ知識とスキルを統合し、多様な症状や背景に応じた適切な対応ができる	教員作成資料 (ケーススタディ)、プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	これまでの講義内容を総復習し、事例演習を通じて実践的な接客対応力を強化する。幅広いケースに対して柔軟かつ確かな提案ができるようトレーニングする。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 総まとめ(レポート提出)	プリント	学外実習で発生した問題等を書き出しておく。学んだことを現場で実施してみる
	各コマにおける授業予定	総まとめ(レポート提出)		